平成 28 年度 第 3 回
那覇･南部地区高等学校バレーボールリーグ大会

期　日：平成 28 年 12 月 17 日（土）・18 日（日）

会　場：　17 日(土)　　糸満高校・南風原高校
　　真和志高校・首里東高校

　　18 日(日)　　知念高校・浦添高校
　　真和志高校・向陽高校

主　催：沖縄県高等学校体育連盟那覇支部･南部支部
主　管：那覇･南部地区高等学校バレーボール研究会

大会役員及び競技役員

開会式･閉会式

式次第（那覇市民体育館使用時）

開会式（09：15～）

司 会:式典委員

(1) 開会宣言	司 会
(2) 優勝旗返還	男子：小禄　女子：那覇
(3) 会長あいさつ	会 長
(4) 競技上の注意	競技委員長(副委員長)
(5) 審判上の注意	審判委員長(副委員長)
(6) 選手宣誓	小禄高校男子主将
(7) 諸注意･清掃割当	会場係

閉会式（全試合終了後）

司 会:式典委員

(1) 成績および	
(1) 最優秀選手発表	競技委員長(副委員長)
(2) 表彰	会 長
(3) 会長あいさつ	会 長
(4) 総評	
(5) 清掃割当･諸連絡	会場係
(6) 閉会宣言	司 会

※ 開始式（各会場にて 09：15 から）では，開会式式次第のうち(1)(4)(5)(7)のみを行う。

競技上の確認事項

１．本大会は，平成 28 年度(公財)日本バレーボール協会 6 人制競技規則により実施する。

２．エントリーは試合毎に変更することができる。

３．開館時間は，豊見城・那覇市民体育館 09：00（会場設営は 8:30 入館），高校会場 08：30 とする。

４．試合運営方法

(1) 試合は追い込み式とする。また，進行状況によってはコートの移動もある。

(2) 審判に割り当てられたチームは，主審･副審･記録員･線審(4 人)･点示(2 人)を出す。

(3) 前試合の終了後にキャプテントスを行い、5 分間の合同練習を行った後，試合を開始する。

前試合終了→ｷｬﾌﾟﾃﾝﾄｽ→合同練習(5 分)→整列･握手→試合開始→試合終了→整列･握手→本部へ記録用紙提出

※連続試合の場合、前の試合終了 15 分後に合同練習を開始する。

(4) 第 1 試合開始 20 分前から 5 分前までの 15 分間は，第 1 試合のチームの練習割り当て時間とする。

５．チーム構成は，監督 1 名，コーチ 1 名，マネージャー1 名，選手 18 名とする。

６．監督が外部指導者の場合は，引率教諭は必ずベンチ入りすること。（那覇･南部のみ）

７．試合に使うボールは，「男子：ミカサ(MVA300)，女子：モルテン(V5M5000)」

８．リーグ形式順位決定方法

(1) 次の採点方法を用いて順位を決定する。

勝者･･･2 点，敗者･･･1 点，棄権または没収･･･0 点

(2) (1)の方法で 2 つ以上のチームが同点となった場合は，取得セット率の高い方が高順位とする。

取得セット率 ＝ 全試合で取得したセットの総数 ÷ 全試合の喪失したセットの総数

(3) (2)の方法で 2 つ以上のチームが同順位となった場合は，ポイント率の高い方が高順位とする。

ポ イ ン ト 率 ＝ 全試合の総得点 ÷ 全試合の総失点

９．各部の入れ替えについての確認事項

(1) 原則として各部の 1 位は上位部に昇格させ，最下位は下位部に降格させる。

(2) 原則として上位部の 4 位と下位部の 2 位が入れ替え戦を行い，勝者が上位部，敗者が下位部となる。

※下位部の 2 位ﾁｰﾑが上位部会場へ移動し、入替戦を行う。

(3) 参加していないチームは所属リーグ部の最下位となり、下位部降格となる。ただし，県外大会派遣のため参加していないチームは、取扱いを代表者会議で審議する。

審判上の確認事項

1．本大会は，平成 28 年度(財)日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び下記の那覇･南部地区高等学校バレーボールリーグ大会特別ルールにより実施する。クイック･サブスティチューション･システムを採用するが，パドルは使用しない。コートに入る選手が「何番と交替」と告げるようにする。

下の(1)～(3)を那覇･南部地区高等学校バレーボールリーグ大会特別ルールとして適用する。

(1)　前試合の終了後、キャプテントスを行い 5 分間の合同練習を行った後，試合を開始する。

※連続試合の場合、前の試合終了 15 分後に合同練習を開始する。

(2)　セット間の中断は 2 分間とする。

(3)　第 3 セットは 13 対 13 から開始する。

2．監督は，プロトコールの前，キャプテンはトスの終了後と試合終了後直ちに記録用紙にサインする。

3．試合の前後は，選手 18 名がセンター･ラインに整列し握手する。なお，キャプテンは選手間の握手の後，主･副審とも握手を行う。(高体連特別ルール)

4．各セットの開始時およびタイムアウトの終了時は，ベルの合図で速やかにコートに入らなければならない。遅い場合には，遅延行為とみなす。

5．セットが終了したら，コート上のプレーヤーはエンド･ライン上に整列し，主審の合図によってチェンジコートし，ポールを超えたら自分のベンチに戻る。

6．競技参加者は，主･副審に対してだけでなく，他の役員，相手チーム，チーム･メイトおよび観衆に対してもフェア･プレーの精神で，礼儀正しく行動しなければならない。

7．相手チームに対する失礼な言葉や審判団(主審･副審･線審･記録員)に対するアピールや抗議には警告が与えられ，これを繰り返した場合には罰則が適用される。

8．競技中のコート･ワイピングは，基本的にコート内の 6 人で行う。しかし，状況により主審もしくは副審の判断でモップの使用を認める場合がある。セット間，タイムアウト時はモップを使ってコートを拭いてもかまわない。

9．審判団は服装を正すこと。ホイッスルは各チームで 3 個準備する。

10．給水タイムを採用する場合、各セットどちらかのチームが 13 点に達した際に 30 秒間とる。

諸注意

1．大会両日とも競技委員長（副競技委員長）を中心に役員ミーティングを行います。

2．各会場とも，体育館以外の施設へは立ち入り禁止です。

3．貴重品はチームで責任を持って管理し，置き引きや盗難に注意して下さい。

4．ゴミは各チームで持ち帰ること。

5．体育館使用上の注意

(1)　体育館は土足厳禁です。外履きと内履きの区別をしっかりとして下さい。

(2)　更衣室･ロッカー及び談話室(豊見城・那覇市民体育館)の占有は禁止です。

(3)　那覇市民体育館では監視カメラに触れないように。また，控え室付近の壁や天井を破損しないように注意してください。

6．高校会場での太鼓を使った応援は禁止です。